

今度はこれがでる！

第16回（2014年9月7日）向け建設業経理士1級 原価計算出題予想

	第1予想	第2予想	第3予想
第1問	記述問題 ・ 工事間接費の配賦 ・ 建設業の特徴	記述問題 ・ 工事契約会計 ・ 材料費の会計	記述問題 ・ 原価企画 ・ 原価計算制度
第2問	用語補充問題	用語補充問題	正誤問題
第3問	個別計算問題 ・ 材料副費	個別計算問題 ・ 部門別計算	個別計算問題 ・ 設備投資の意思決定
第4問	個別計算問題 ・ 単純総合原価計算	個別計算問題 ・ 社内センター制度	個別計算問題 ・ 組別総合原価計算
第5問	総合問題 ・ 「完成工事原価報告書」の作成 ・ 「未成工事支出金」残高の計算、「工事原価計算表」の作成など ・ 「原価差異」の分析		

なぜ、こう予想した？

第1問では、原価計算の基礎的な考え方や処理方法の比較などの理解についての記述問題が出題され、総論的な内容と具体的な処理の考え方に関する内容のセットで問われる傾向にあります。直近では、**工事間接費の配賦**に関する出題が多く、連続で出題されることも珍しくないため、第1予想として挙げています。また、その他としては、**原価企画**や**予算の編成**といった原価管理的な内容や、**工事契約会計**や**材料費**といった財務会計や財務諸表との繋がりを意識した記述を通じて、受験生の理解度を試すのではないかと予想しています。その一方、**建設業の特徴**を踏まえた原価計算の考え方が問われる可能性もあることから、これを今回の第1予想に挙げました。

第2問では、以前は正誤問題と用語補充問題がほぼ交互に出題されてきましたが、第10回以降は連続して用語補充問題が出題されています。したがって、今後も用語補充問題の出題可能性が高いと考えられます。また、取り上げられる頻度が高いのは**原価の費目別計算**、**原価計算総論**、**工事間接費の配賦**、**活動基準原価計算**などです。こうした頻出度の高い論点を中心に確認しておきましょう。

第3問は、コンスタントに計算問題に出題されている**材料副費**に関する内容がそろそろ出題されるのではないかとということで、第1予想に挙げました。また、第1問でよく問われる工事間接費の知識を活かした**部門別計算**に関する計算問題も最近出題されていないため、そろそろ注意しておく必要があると思われるため、第2予想としました。なお、意思決定会計に関する出題は今のところ連続で出題された実績はないものの、「要注意」という意味で**設備投資の意思決定**を第3予想としました。

第4問は、建設業に特有のものではなく、一般製造業の原価計算が中心となって出題されています。特に、直近5回中4回は総合原価計算が(そのうち直近2回は組別総合原価計算が連続で)出題されています。今後もこの傾向が続く可能性が高いと考え、出題予想は第1予想をオーソドックスな**単純総合原価計算**、第3予想を**組別総合原価計算**としました。しかし、当然に総合原価計算以外の出題可能性もあることから、第2予想には**社内センター制度**を挙げました。

第5問は**総合問題(完成工事原価報告書、原価差異の分析等)**です。配点が高く解答にも相当の時間が必要ですが、出題パターンが毎回ほぼ同じであるので、過去問で充分に対策しておきましょう。

合格目指して
ラストスパートだ！

